

課題番号：31

課題名		廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来する α 核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「廃棄物の減容化、廃棄体化」 課題「 減容化手法 」	
ニーズ		望ましい状態とその理由	（参考）関連する研究課題
1	廃棄物を減容および再使用・再利用したい。	<p>●放射性廃棄物の処理に当たり、保管・処理・処分コストの低減等の観点から、処理量を安定的に削減（減容化）することが望ましく、そのための手法を検討することが求められる。</p> <p>●対象となる廃棄物は、汚染水、ガレキ、デブリ取り出しに伴って出される構造物等、水処理二次廃棄物、土壌等であり、既に発生しているもの、これから発生するものを含む。</p> <p>●また、放射性廃棄物量の低減とその処理処分コストの低減のため、汚染土壌等については再使用・再利用することが望まれる。</p>	H30年度英知「汚染土壌の減容を目的とした重液分離による放射性微粒子回収法の高度化」
関連する課題		<p>○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。</p> <p>○また、「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」と「汚染水対策」、「使用済燃料プールからの燃料取り出し」、「燃料デブリ取り出し」を結ぶ「キャラクターゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。</p>	